

平成27年度 統計グラフ佐賀県コンクール 入賞作品紹介



佐賀県及び佐賀県統計協会では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんに役立てるため、毎年、統計グラフ佐賀県コンクールを実施しています。

今年度は、全6部門に125点の応募があり、特選6点、入選21点、佳作26点、また特別賞として佐賀新聞社賞、サガテレビ賞が1点ずつ決定しました。

さらに、学校をあげて統計教育に取り組み、作品を多数出品するとともに、統計知識の普及に貢献された佐賀大学文化教育学部附属小学校、伊万里市立伊万里中学校の2校を学校賞に決定しました。

また、入賞した作品の中から優秀な作品19点を全国コンクールに出品したところ、2点が佳作に入賞しました。

平成27年度 統計グラフ佐賀県コンクール応募状況

部 門	応募作品数	応募者数
第1部（小学校1～2年生）	23	28
第2部（小学校3～4年生）	40	47
第3部（小学校5～6年生）	34	41
第4部（中 学 生）	12	22
第5部（高校生～一般）	3	3
パソコン統計グラフの部	13	32
合 計	125	173

※規格外作品含む

★統計グラフコンクールについて、詳しくはこちら★

さが統計情報館
統計データ検索サイト



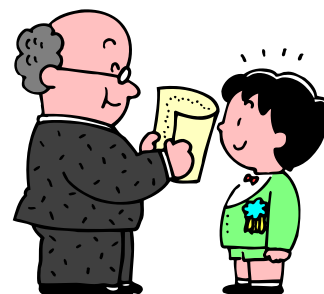
【主催・後援】

主催：佐賀県、佐賀県統計協会

後援：佐賀県教育委員会、佐賀新聞社、サガテレビ

【審査員】

牛丸 和人（唐津市立西唐津中学校 校長） 他11名



総評

今回の審査では各部門ごとに「発達段階に応じたテーマや表現方法が使われているか」、「応募の規定が守られているか」等の条件に照らしながら、一つ一つの作品を複数名で丁寧に審査し、投票や協議を重ねた上で入賞、入選、佳作の作品を決定しました。

作品の出品総数は昨年よりも減少したものの、その分非常に内容の濃い、バラエティーに富んだ質の高い作品が出揃ったという印象を受けました。特に第三部、第四部は力作揃いで、審査に時間を要しました。

今回の入賞者の中には、佐賀県統計分析課が主催した小・中学生対象の「統計グラフワークショップ」に参加した児童・生徒の作品も多数あり、その成果があったようです。

今後は各学校への応募の呼びかけに加え、小学生の保護者の皆さんへの広報活動や、「統計グラフワークショップ」への勧誘方法を工夫していくことで、統計グラフへの興味・関心は更に高まるのではないかと期待しています。

【表彰式】

平成27年11月18日（水曜日）

佐賀県立美術館ホール



【入賞作品展示会】

平成27年11月18日（水曜日）～26日（木曜日） 佐賀県立美術館 画廊

★第1部(小学校1～2年生の児童)

【特選】

講評



佐賀県の空の玄関口と言われる佐賀空港。その空港から、みんなはどこへ行くの
だろうか？
そして、どんな人たちが何をしに佐賀にやって来るのだろうか？ そんな素朴な疑問
がきっかけとなった作品です。
円グラフや棒グラフ、九州地図などをていねいに描いています。
空港でのスナップ写真をもとに、西原さんが手描きのイラストとして表現していたら更
に楽しい作品になったと思います。

受賞者の 声

とてもうれしいです。がんばってつくってよかったです。
ひこうきにのるとき、いつも「みんなはどこにいくのだろう」と、きになっていた
から、このテーマをえらびました。
しらべてみて、かんこくのだんたいりょくやかくが多くておどろきました。
さがくこうからべつぷやふくおかにいけていいなあとおもいました。
データをあつめるとき、出口からでるおきやくさんに声をかけるのがたいへ
んでした。また、グラフは、いろがみを切ってつくところをくふうしました。

「さがくこうからみんなはどこへ行く」

鳥栖市立弥生が丘小学校
2年 西原 千尋

【入選】

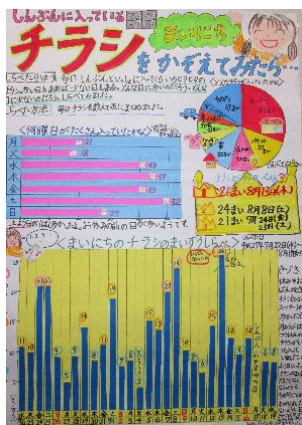
「みんなのアサカツ
しらべたよ！」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
1年 高場 美帆



「ぼくの家のやさいの
タネキングしらべ」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
2年 松本 良啓



「しんぶんに入っている
チラシをま
いにちかそえてみたら…」
神埼市立神埼小学校
2年 石井 凜

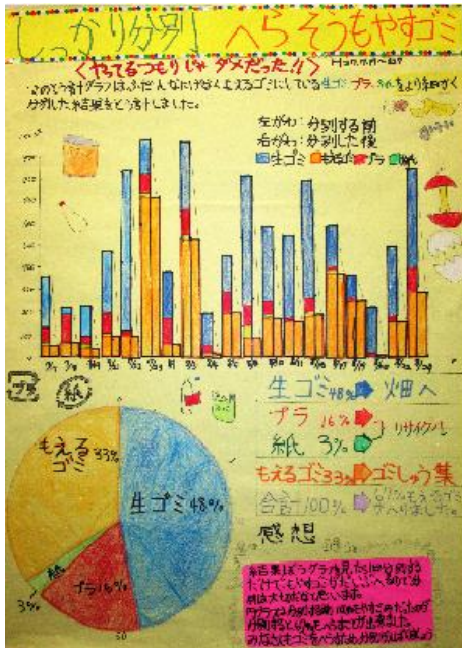


「とうぶ小
1学きのけがしらべ」
神埼市立千代田東部小学校
2年 神代 愛依



★第2部(小学校3～4年生の児童)

【特選】



「しっかり分別へらそうもやすゴミ」
鳥栖市立基里小学校
4年 野田すず

講評

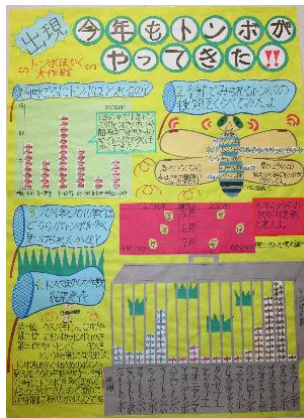
「エコ」という言葉はエコロジー(環境)に良いという意味と、エコノミー(経済)的であるの両方の意味で使われます。最近はその考え方から、家庭から出るゴミを分別したり、減らしたりしている人が増えてきていますね。野田さんはゴミの種類や量、行き先などを円グラフや棒グラフにまとめ、燃やすゴミを減らすことや、リサイクルの大切さを教えてくれています。

受賞者の声

特選に選ばれて、おどろきました。とてもうれしいです。このテーマを選んだのは、見学に行って、うめ立て地の問題やゴミをへらす方法について考え、家を出るゴミがどのくらい分別できるか調べようと思ったからです。調べてみてゴミはふだんから分別できると思っていたのですが、細かく分別することで、もやすゴミの量をへらすことができますと気づきました。制作中の20日間、正かくにはかる所が、むずかしかったです。ぼうグラフでどれだけへったか、分かりやすく工夫しました。

【入選】

「出現 今年もトンボがやってきた!!」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
4年 吉島 輝



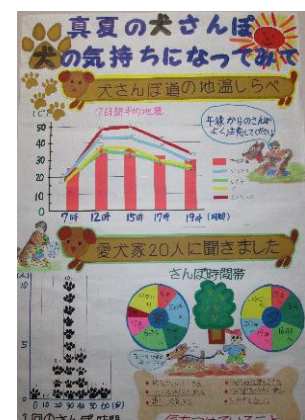
「電気ふしぎ発見」
「やっぱり夏が一番、電気をを使うのかな!?!」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
4年 加藤 寛陽



「みんな!おみそ汁を食べていますか?」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
3年 堤 恵美



「真夏の犬さんぽ」
「犬の気持ちになってみて」
佐賀大学文化教育学部附属小学校
3年 片淵 薫人

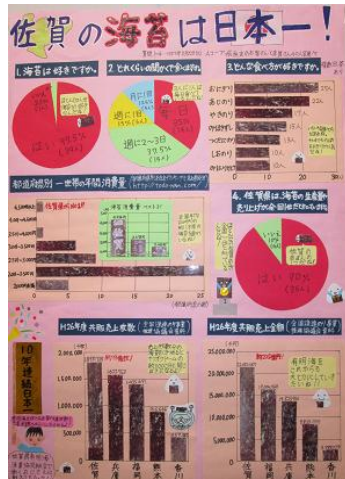


★第3部(小学校5～6年生の児童)

【特選】

【入選】【佐賀新聞社賞】

「佐賀の海苔は日本一！」
佐賀市立神野小学校
5年 野中美遥



講評

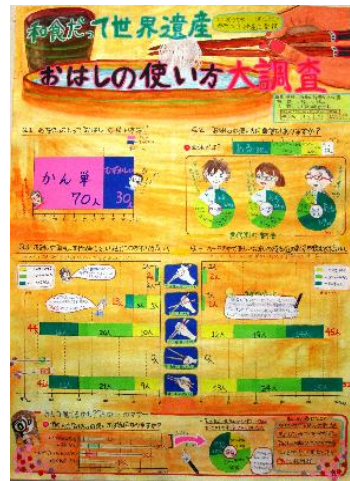
有明海の恵みが詰まった佐賀海苔は、色・ツヤ・形・味などの品質、そして生産量ともに日本一を誇っています。この佐賀海苔に注目して海苔の年間消費量や、海苔を使った好きな食べ物ベスト7等を紹介しています。何と言っても野中さんの作品のユニークなところは棒グラフやテーマの文字に海苔の写真を貼り付けたところです。統計グラフならではの愉快なアイデアだと感心しました。

受賞者の声

1年生のころから毎年チャレンジしているので、初めての県特選に選ばれてうれしいです。去年は、兄が県特選だったので私も県特選になってうれしいです。このテーマを選んだのは、兄がのりのことを調べていたし、私は、のりが大好きだからです。また、調べてみて、ほとんどの人が、佐賀ののりが1位ということを知っていたことがわかりました。グラフを制作して工夫をしたところは、グラフをのりの写真にしたところと、タイトルも「のり」というところだけをのりの写真にしたところと。

「和食だって世界遺産
おはしの使い方大調査」

神埼市立千代田東部小学校
5年 武富みゆ



講評

世界遺産の話題がいろいろある中で、「和食」をテーマに取りあげ、そして毎日欠かさない「はし」に着目した点に感心しました。「使い方に自信は?」「正しい持ち方は?」など、調査項目もとても素直な疑問から出ていると思います。それらを円グラフ、棒グラフにイラストも交え、分かりやすく伝えていきます。世代別に分析した観点もすばらしいです。社会のさまざまな出来事を「自分」に置き換えて考える一。その大切さが伝わる作品です。

受賞者の声

統計グラフコンクールには、毎年夏休みに頑張って出しています。今年も入選できたので「よかった」と思っていたら佐賀新聞社賞まで貰えると知って驚いたし、本当に嬉しかったです。三重津海軍所跡地が、世界遺産になったけど、他にも世界遺産はないかと思っていたら和食がありました。その中でもお箸の持ち方が気になったのでこのテーマを選びました。調べてみると、ちゃんとお箸が持てなかったり、持ち方に自信が無い人が沢山いたことに気づきました。グラフの製作にあたっては、何度も手を書き直したり、円形のグラフの書き直しをしたことがとても大変でした。

【入選】

「高校野球100年!」
97年/100年の軌跡と4年/100の
思いを次の100年へ!」
佐賀市立日新小学校
5年 森球道



「おいでよ!伊万里・多良良海岸
古代生物すむ海へ
伊万里湾カブトガニの館」
伊万里市立牧島小学校
6年 西蘭涼音



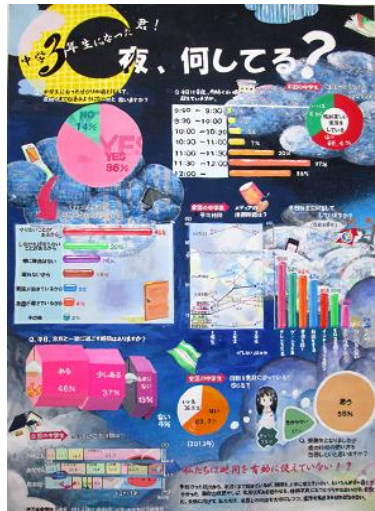
「ほいくえん・ようちえんの
お仕事事情」
佐賀市立西川副小学校
6年 木田秋穂



★第4部(中学校の生徒)

【特選】【全国コンクール 佳作】

「中学3年生になった君！
伊万里市立伊万里中学校
13年 山口 香奈美
夜、何してる？」



講評

中学3年生は進路選択の時期です。一年間をどう過ごすかによって進路も大きく変わってくるはずですが、全ての人に毎日24時間が平等に与えられるのですが、それをどう使うかはそれぞれの人の考え方や体調などに委ねられます。畠さんと山口さんは共同で「夜の使い方」に関するアンケート結果を、さまざまなグラフなどを用いて分かりやすく示しています。背景画の夜景や月も美しいです。

受賞者の声

2人で協力して作成をしました。3年生にとっては、今まで培ってきた技術で完成させたものであり、1年生にとっては、先輩と初めて制作した作品が県特選という評価を頂き大変うれしいです。「夜の過ごし方」。みんなは何をしているのだろうか？特に、今年受験生である3年生は、普段どのように過ごしているのかを知りたいと思い、話合っこのテーマにしました。調べてみて、自分の時間を上手に活用できていない人が少なくないことが分かりました。製作にあたっては、グラフの細かいところや光をつけたりするところに苦労しました。また、作品に個性が出せるように、背景やグラフの形にこだわりました。見やすくなるように配色も工夫しました。

【入選】

【全国コンクール 佳作】

「守れる？ 自転車の法律」

伊万里市立伊万里中学校
2年 北 明日風
1年 中村 彩香



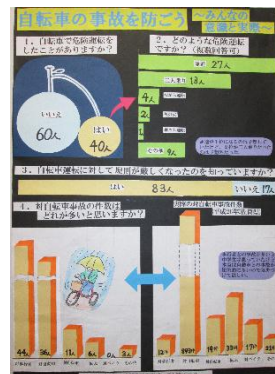
佐賀清和中学校
3年 江越 由華

「AED『自動体外式除細動器』 スポーツ競技中の危険」



「『自転車の事故を防ごう』 みんなの意識と実態」

多良市立中央中学校
1年 中尾 圭太



「中学生とスマホの関係」

伊万里市立伊万里中学校
13年 浦川 田本
美実 咲音



★第5部(高校生～一般)

【特選】

「希望する大学や専門学校
～どんな免許・資格が取得できるか?～」
2年 佐賀清和高等学校 江越 実咲



講評

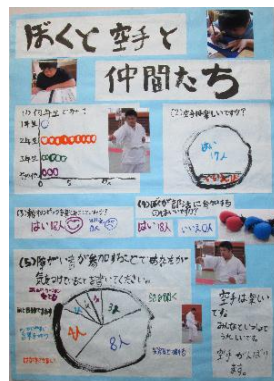
高校生は、中学生以上に卒業後の進路を真剣に考えながら自己実現につなげていかなければなりません。
江越さんは作品を通して、大学や専門学校ごとに取得できる免許や資格が違うのだということを知っておくことの大切さを教えてくれています。進路という何となく硬いイメージになりがちですが、多くの人が進路を真剣に考え始める夏休みのイメージでバックを仕上げています。

受賞者の声

特選になるとは思っていなかったのでうれしい限りです。
自分の行きたい大学で取得できる免許や国家資格をどれだけの人が考えて進路を決めているのかを知りたくてこのテーマにしました。
私は大学では社会福祉士と社会調査士の資格を取得して、地域のまちづくりに関わり、将来は、英語を活かして国際的に活躍できる研究者になりたいと思いました。
今回は、デイサービスで用いられている和紙を使った「ちぎり絵」でグラフを表現してみました。細かくちぎる所が、とても苦勞しました。できあがりがかいいで、見る人に楽しんでもらえたらと思って作成しました。

【入選】

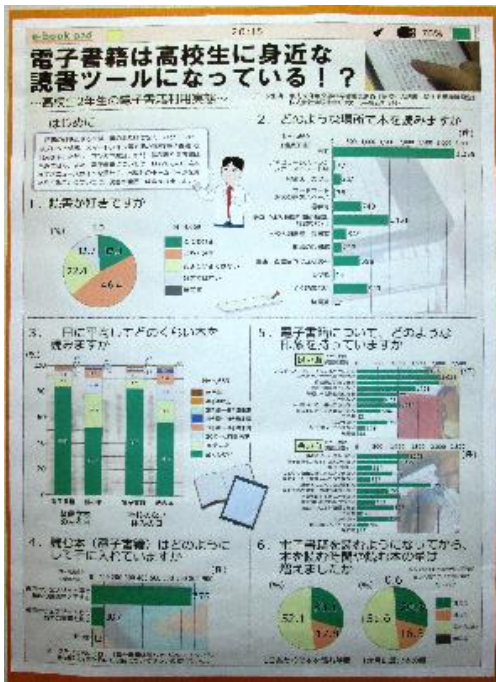
「ぼくと空手と仲間たち」
佐賀県立大和特別支援学校高等部
2年 藤瀬 泰寛



★パソコン統計グラフの部(小学校の児童以上)

【特選】

【入選】【サガテレビ賞】



「電子書籍は高校生に身近な読書ツールになっている！？」
～高校生2年生の電子書籍利用実態～

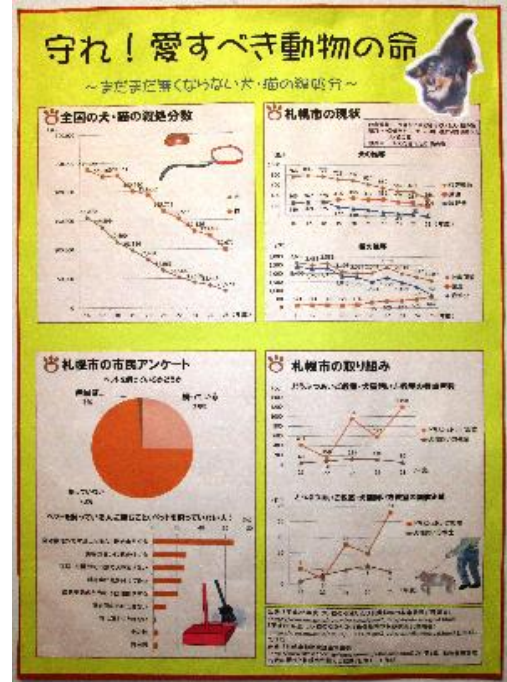
一般 中村 純一

講評

デジタルコンテンツの発達と共に、電子書籍の利用者は若者を中心に瞬く間に増えました。
この作品は高校2年生の電子書籍の利用実態を、パソコンによる統計グラフで仕上げています。
派手な色彩、変わった形のグラフや文字の配置は、一見目をひきますが、時として見づらさにつながります。中村さんは背景をグレーとし、あえて色味を抑えてクールな雰囲気のある作品に仕上げています。

受賞者の声

県特選に選ばれてとても嬉しい気持ちです。年齢制限がない部門でもありますが、自らが制作することがより良い指導につながると考えています。
このテーマを選んだのは、教育現場にもタブレットPCなどのデジタル機器が導入されている今、電子書籍を読むという使い方がどの程度浸透しているのかを知りたいと思ったからです。調べてみてタブレットPCやスマホなども含めて、書籍をデジタル機器で読むという習慣は、まだ市民権を得ていないと思いました。これから増えてくるかもしれません。
制作に当たり、パソコンの部ならではのデジタル機器を使った表現方法を適切に利用することを心掛けました。ただ、技巧にとらわれることなく、統計グラフが伝えようとしているメッセージをどう表現するのかを工夫しました。



「守れ！愛すべき動物の命」
～まだまだ無くならない犬・猫の殺処分～

佐賀市立大和中学校
3年 橋富 麻香

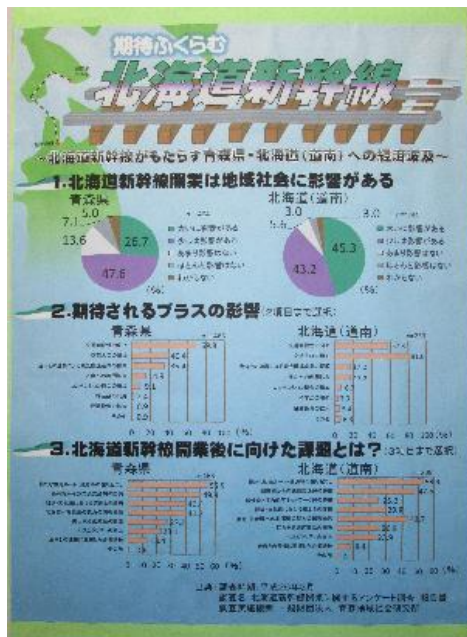
講評

橋富さんの作品を選ばせていただいた理由は、テーマが「小さないのち」に着目されていたことが大きいです。
普段あまり話題に上らない犬や猫の殺処分について、わかりやすい表現を用いて説明されています。ほかのグラフ作品と違い、人間の生活には直接関連しない話題ではあるものの、小さな命を守る精神は、そのまま弱者へのいたわりの心を涵養するものと考えます。
データは札幌ですが、佐賀も状況は変わらないものと思います。

受賞者の声

サガテレビ賞に選ばれてとても光栄です。たくさんの工夫や努力を重ねた作品なので、とても嬉しいです。
テーマを考えていた時、家で飼っている犬のことを思いだし、ネットで調べていると、ペットに関する問題がたくさんあるとわかったので、これにしよう！と決めました。人間の行為のせいで、たくさんの犬や猫が無駄に命を落としていることがわかりました。この問題は、「誰かが解決する」のではなく、「私も解決できる」問題だということに気づきました。
グラフは、とにかく見やすいレイアウトにすることにこだわりました。テーマが動物だったので、温かみがある黄色の背景に茶色の字など、統一感のある色を選びました。

【全国コンクール 佳作】



「期待ふくらむ北海道新幹線」

佐賀市立大和中学校
3年 柴田 峻佑

伊万里市立伊万里中学校

3 年 横 山 正 秋

佐賀市立鍋島小学校

「身近な図書館をくらべてみました
 伊万里市民図書館と武雄市図書館・
 歴史資料館の比較」

「みんなは手紙書いてるの？」

